



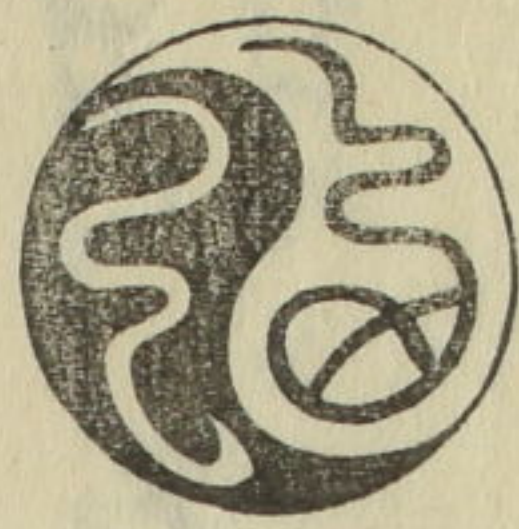
~10
7384
1





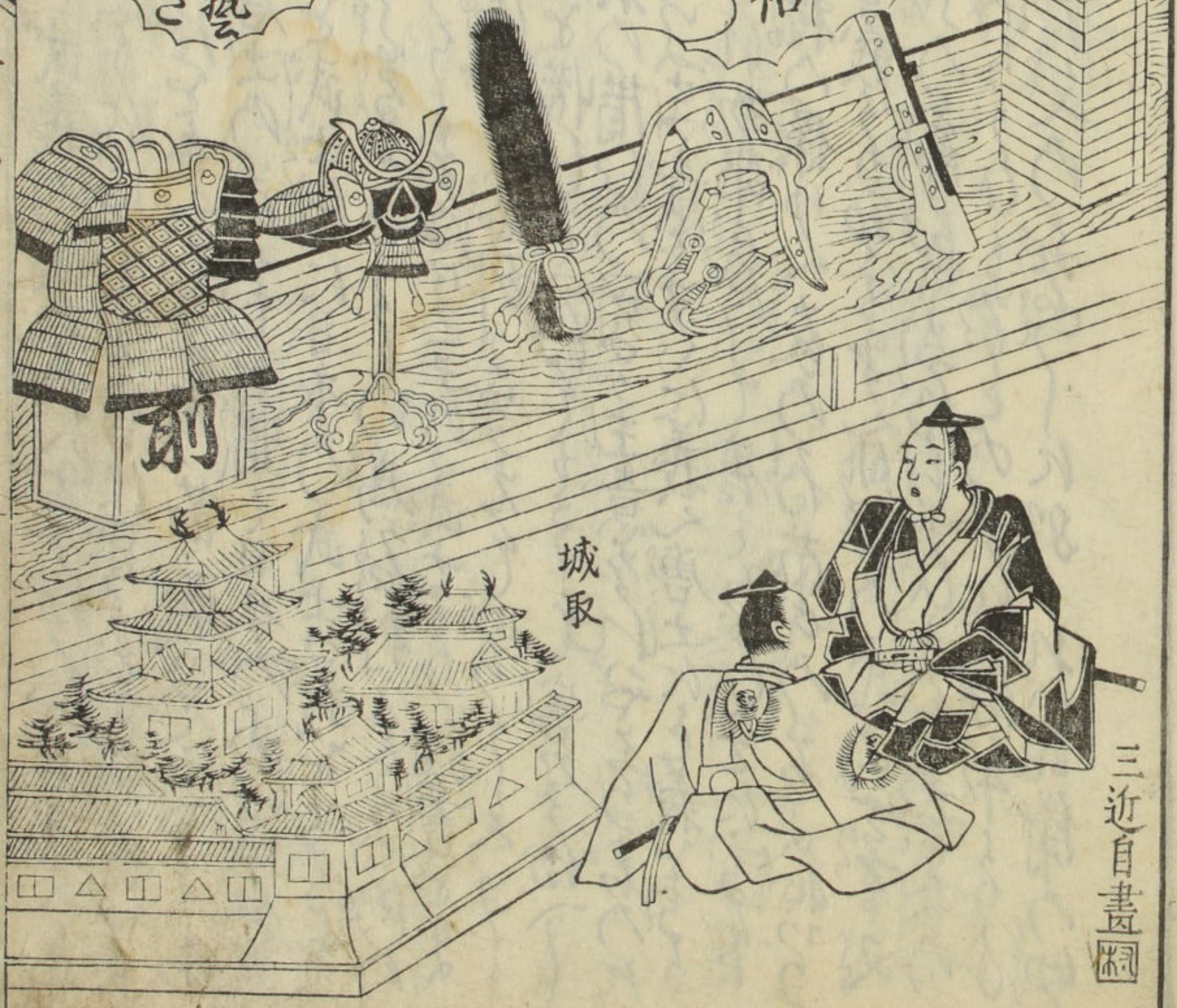
綱錦齋中村三近子筆作

天書往來



太極篆印書局
爲人頰禱羸禱

○士の志なり四民の
上に位して節義
の二つと平生志し
て居ると士の故に武
法を者、學又をして
節義とて、女、子、亦
とせしめ、日本、の、凡、俗
の文章、には、これ、な
る、に、心、け、武、藝、と
藝、と、る、る、士、の、全、体
か、ら、い、か、ら、悉、く、練
なり、か、こ、こ、ゆ、ゆ、は、
弓、馬、の、道、は、達、し、
其、か、の、武、藝、は、面、の、
辟、愛、の、し、武、術、と、務
り、の、付、ハ、幸、簡、に、て、万、藝
と、を、の、つ、つ、通、達、よ、こ
る、と、但、唐、の、士、を
日本、の、士、と、心、かり、よ



三近自畫

乃文章と俗文とらひて日用は經緯チカミチウチク、
 其漢文書翰と學マシヒして和極初心シヨレシとらひら
 らし唐流の書面と別枝過る事甚コトハチハと
 僻ヒガコトなるを又行と日本ニッポンの稟ウケルかゝる。
 先君の風俗と委クニシクして唐風も志
 うかぶ。次第階級をそそぐとカウとシヤウ
 驚ハスるは俗儒動ツクとれ書物シヤウ紙テと

らちて返書ヘンシヨをそそぐは形カタの分野アサハ又
 適返書タミヘンシヨと申は片れ駁シヨリして文法ブンポフは
 不フツ合ガフをそそぐと都カハツる物モノをシヨとらひて
 大學ダイガクのまゝと小學シヨウガクは灑掃應對サイサウオウタイが根ネ
 本ホンにして治國平天下チコクヘイテンカの具ユキとらひ
 じ。故カレガユヘに吾黨ワガタウの童子ドウシは和文ワブンは通ツウ
 俗ソクを書カキて日用ニチヤウの物モノをタスケるは物モノと

一、^イの^カの^カ下^カ學^シ上^シ達^シの^シ送^シ四^シ民^シよ^シ行^シ
 通^シじ^シて^シ文^シれ^シれ^シ見^シ合^シよ^シり^シて^シぐ^シん^シば^シき^シと
 善^シ念^シと^シ勸^シじ^シか^シの^シ一^シ物^シお^シん^シ

享保十四己酉年九月穀旦

洛之士

綱錦齋中村年又書



四民往來万海宝藏

士之部大意

○此書四民と四種の種と分るるを以て文を
 一、^イの^カの^カ下^カ學^シ上^シ達^シの^シ送^シ四^シ民^シよ^シ行^シ
 通^シじ^シて^シ文^シれ^シれ^シ見^シ合^シよ^シり^シて^シぐ^シん^シば^シき^シと
 善^シ念^シと^シ勸^シじ^シか^シの^シ一^シ物^シお^シん^シ

- 一 禁裏異名
- 一 百官并漁倉百官
- 一 武具縁字類字
- 一 十二月異名并歳名異名
- 一 二月異名并朔日異名
- 一 加増を別之文章
- 一 役人の惣名
- 一 三月并節句異名
- 一 乃中配符之文章
- 一 狼藉者并捕之文章
- 一 所務家諸卿之署名
- 一 主用買物之文章
- 一 室室同所換物之文章
- 一 洋領物之文章
- 一 君不和漢之類字縁字
- 一 山川縁字類字
- 一 下之觸令之文章
- 一 ち社之縁字類字
- 一 道中縁字類字
- 一 盜賊之縁字類字

- 一 沙門之文章
- 一 五人代表之文章
- 一 新編吟味之文章
- 一 歳末并初縁字類字
- 一 四月之異名
- 一 弓櫛名古之文章
- 一 馬の毛
- 一 名紙治乃署名
- 一 八月并端午之異名
- 一 回中元服之文章
- 一 僧官縁字類字
- 一 省之縁字類字
- 一 新編和之文章
- 一 師料理之札状
- 一 武具修度之文章
- 一 馬櫛名古之文章
- 一 紙治乃文章
- 一 大名御通及御之文章
- 一 室室殿之元服文章
- 一 洋領物之使役文章

目見位

殿様登御機嫌社被の遊
御越年元朝二日御本丸
御遷御家門方御家中
之諸士御嘉辰之御目見

社為清御盃又志御流
頂戴之御城下寺社之
惣御礼式首尾在相傳方
始御儀法公儀御あはれ
御總式公儀御障社遊行

中愉悅不斜之者必悦之

極來存惟毫末私式近

御坐書を紙下紙有仕合

奉存惟必謹言

御坐書を紙下紙有仕合
極來存惟毫末私式近
中愉悅不斜之者必悦之

○家老白を年始文章

家老白を年始文章
改年之御古紙に下守有書

改年之御古紙に下守有書

御古紙に下守有書

とく様倍市機地能多遊
 市除威え之市親式市
 未例之通於市廳市酒家
 遂行市續市馬車約法市
 多洗市之病人年序之
テウ トウ

百祥市沙地法之巨細市
モノノサイハイ
 市親通之漏自市海市
フルキ
 市院市同意市母母於法
 市市市金館市静證堂
 上市市付市他市行願市市代

礼恒祝と通と指と又相勅

山年南少を名祝奉り

上及び捧魚札恒長恒謹言

右、故、病、休、回、前、の、格、を、殿、の、御、前、に、お、か、り、
その、ま、れ、お、老、の、名、を、の、金、封、書、へ、う、け、別、紙、
の、紙、に、お、ま、り、お、元、日、二、歳、三、百、六、十、日、の、初、
け、に、祝、賀、根、元、元、日、の、三、字、書、經、一、出、年、の、元、
那、の、初、日、乃、元、慶、の、う、ち、と、い、ふ、く、ん、

○お老白別紙之文章 及び文章たるべし

別啓上と作於御台慶と本書は得
その意は先づその金御身健少和歳
す多花と目も御重甘好の随多恒敬
少たのゆ御持扇一箱進上之は成以
年席少祝詞と下進少た作と恒謹言
○年始婿問の文章 書面よハいひる文章の
冠かぬはかり中一魚卵よはるるこちれも初め
の種るはよはかりくとまゆりこちれも初め
撃鷹と赤氷万圓一統幸福御納は共
少徳も下金御令寧少詔哉千鶴万亀
不才過之は随なる年賀五明一箱納贈

正統五年己未秋九月
 詔以兵部侍郎
 沙城歲時成好意之
 法儀其好年首
 沙統詞上及少幼
 沙統詞上及少幼
 沙統詞上及少幼

○同役人白を文章

新春御考又五之
 殿棟直御換能
 御登
 下と正統は同
 沙達湯之成目
 城
 下と正統は同
 沙達湯之成目

考政加年以年以
 少幼
 下役人白を文章

○下役人白を文章

年下層之古
 白を文章
 高嘉少小
 何乃

○皇太子之春文章

鳳曆年以春
 付之
 皇太子之春文章

生多稟又仍於亂世之末自寧寢食
 以之也又且仍於亂世之末自寧寢食
 治世諸士稟之而不覺又誠多於女
 在與之春之代也
 神德之餘也
 別之身得視況也
 ○具足鏡國之文章

來上之
 恒例
 通鏡
 幸官物
 白々

高日親族
 高日親族
 高日親族
 高日親族

○正月於縁字類字

縁字類字と接奉りて文章又縁字類字の

正月異名	大簇	西春	初春	新春	南年
陽月	初陽	陽陽	建寅	肇年	新正
暎月	歲首	年始	正月	西春	
春異名	早春	上春	因春	陽春	芳春

花春 三春 首春 献威 孟湯 上湯

艷湯 青春 蒼春 青湯 青帝 青竹

芳辰 温月 和暖 淑景

元日異名 三朝 正朝 元旦 鷄旦 二始

三微 雜日 青旦 淑節 韶節 嘉時

初正 履端 更始 三元 天臘

正月事物 若水 吉書初 書初 面之

昨為北闕被悲士 今作西都雪耻尸 生根

死歡其我奈 今須望足護皇基

白圭 飛花 梅子 鬪斗 黑大豆

歲旦 大福 蓬萊 榧棹 神馬 鹿 佐藤

柿 燈 柀子 楊子 梅子 鬪斗 黑大豆

野老 昆布 伴勢 粉 荷葉 惠方 蒔

蕪白散 四方 朝 日 松 串 柿 炭

株 倉廩 固 雜 貴人 組 有 組 叩 牛

房 串 貝 鍊 蹄 節 淨 冷 養 於 節

親王家	有栖川	千石	伏見	千石	京極	三千石	御園	丹波	金園	大掖
御家	近衛	千石	九條	二千石	二條	千七百石	一條	千五百石	鷹司	千五百石
禁省	丹墀		紫府	紫極	棘欄	禁宸	禁液	北殿		
鳳池	茶園	北墀	舊省	真塔	煖室	丹城	龍化			
九宸	禁城	青雲	九殿	碧殿	玉殿	壁門				
北園	三槐	薇省	棘園	紫園	紫園	北宮				
禁門	帝宮	星園	聖朝	丹宮	丹宮					
百敷	金殿	紫殿	高朝	殿園	紫宸	大掖				
鳳宸	上苑	禁園	內園	御園	丹掖	金園				

清苑	大炊御門	菊亭	轉法輪	苑山院	德大
寺西園	寺醍醐	久我	廣幡		
諸卿	西三條	正親町	清水	右衛門	井田
齋河野	姊小浜	山本	風早	押小浜	苑園
橋中	武者小浜	園池	日野	柳原	廣橋
鳥丸	裏松	日野	西	物解	中河
戶北	小浜	外山	豐岳	物解	中河
室小川	坊城	弟里	小浜	清閑	寺井
山梅	小浜	池尻	穗波	長崎	堤
海西	大浜	山科	就鳥尾	松本	物解

國東國 糸川 石山 六角 多野 石野 水
 瀨 七條 町尻 檜 山 野 中 山 今 城
 野 文 教 中 國 高 岳 上 冷 泉 藤 台 入 下
 冷 泉 倉 馬 井 維 波 富 小 河 梅 園 大
 文 樋 口 堀 川 裏 辻 萩 原 小 倉 白 川 中
 院 六 條 宅 宕 岩 倉 千 種 久 世 梅 溪 植
 松 庭 田 綾 小 河 入 辻 竹 田 早 松 西 洞 院
 石 井 長 右 衛 門 多 辻 東 坊 城 又 條 唐 橋
 法 園 素 原 舟 橋 伏 原 澤 土 師 門 金 橋
 吉 田 藤 波 猪 熊 島 光 寺 小 森 押 羽 寺 生

門 跡 輪 王 寺 梶 井 妙 立 院 清 蓮 院 曼 殊 院
 聖 護 院 圓 滿 院 仁 和 寺 大 覺 寺 一 乘 院
 勸 修 寺 實 相 院 知 恩 院 慈 心 院 毘 沙 門
 三 宝 院 大 乘 院
 諸 官 士 六位 禁裏乃士と龍口院乃士と北面東宮主者加 諸 大 吏 侍 從 少 將 中 將
 參 議 中 納 言 大 納 言 大 將 內 大 臣 右 大 臣 左 大 臣 右 大 臣 左 大 臣
 大 臣 大 政 大 臣 ○ 中 務 唐名 中書 式 部 吏部 治 部 禮部 民
 部 戸部 兵 部 兵部 刑 部 刑部 大 藏 大府 官 內 工部 以上八省
 大 舍 人 圖 書 內 記 縫 殿 內 正 大 學 雅 樂
 玄 蕃 主 計 主 稅 木 之 大 炊 主 殿 典 茶

掃部 少宮 右馬 兵庫 大膳 右京 修理
 隼人 囚獄 織部 内膳 造酒 采女 主水
 西市 主膳 主馬 右衛門 右兵衛 少納言
 外記 内記 監物 彈正 勘解由 檢非違使
 藏人 將監 鎌倉百官 中記 右門 數馬 沈中 右中
 江漏 衛守 免毛 波門 平馬 兵馬 伊織 丹下 求馬 浪江
 米 頼母 右膳 小膳 岩尾 左平 右平 織衛 要司 久
 馬 男也 自然 多門 大所 化 小所 化 半外 平用 宮門 要司 久
 殿 宇 齋 小貳 典膳 梅下 古仙 藤馬 喜内 茂木 矢柄 彌刑
 大貳 清記 將殿 彈番 武極 主尾 牧太 典禮 典女 遠炊 彌刑
 主祿 宇殿 求官 正貴 信像 肥富 軍記 司書 諸領 遠炊 彌刑
 吏 首令 復馬 申藝 一問 多喜 間多 志津 摩 文内 織之
 必 織 居 能 登 路 文庫 愛之 父 且
 小源 太 左 源 太 此 面 恰 轉 隼 之 父 且

○自用烟物文章

此の 旨い 文章 御 用 沙 汰
 と 叙 於 帝 御 御 用 沙 汰
 物 々 あり 家 御 用 沙 汰
 卷 端 御 用 沙 汰
 檢 取 御 用 沙 汰

骨沈具悉也朱搦尸於
腔率首係指上以沙武
具角御馬之つらら箒
御佩者るを沙腰物子妙
上細之尸付以具搦沙
かき 腕 子 腕 子

合の〜調物何れは
父と通お取沙深物類
雛白模音給音附合
各々係係亦一和為
符帳入日沈道々相遠

○武具縁字類字

武具者士の表道具にして武具の中具は之を武具と云ふ
 書に云くが武具の中具は之を武具と云ふ
 今具是なり
 檀杏葉のてつあり具是
 卦算を八卦に依りて
 毛引
 威毛
 實核
 綿緇
 浮張
 肩當
 袖流
 矢為令
 脇板
 射向板
 揺糸
 卦算
 卓摺
 千檀
 弦趨
 合是
 總角
 袖外裏
 胴虎
 緋
 金具迫
 逆板
 糸
 根緒
 經付緒
 押付板
 受筒
 獨受
 菱板
 袖裏
 冠板
 相緒
 面頰
 延金
 鼻緒
 延令

甲掛糸
 猿頰
 鼻の
 逆頰
 兜
 天通
 巔通
 皇甲
 眉廂
 吹込
 檜垣
 見揚
 内兜
 拳玉
 筋金
 忍緒
 綴鉢
 付板
 笠符環
 立物
 軸
 本
 鞅形
 龍頭
 頰形
 頰早
 立板
 甲
 絲板
 巾
 烏帽子
 碎
 十五頭
 喉論
 饅頭
 咽論
 肘令
 腕白
 脇當
 燈摺
 十五脇當
 膚着
 踏鼻
 腰卷
 脇川
 陣羽織
 袖
 肺指
 馬道具
 鞍
 鞍骨
 鞍褥
 鞍覆
 鏡
 儀
 山海
 小容
 籠子
 股
 尻
 先
 洲
 濱
 形
 地
 子
 切
 組
 馴
 目
 名
 先
 名
 合
 己
 上
 鞅
 の
 馬
 韉
 縹
 革
 絆
 網
 鞅
 刺
 馬

